

JFA 第 29 回全日本フットサル選手権大会第 28 回長野県大会 実施要項

1. 名 称 JFA 第 29 回全日本フットサル選手権大会第 28 回長野県大会
2. 主 催 公益財団法人日本サッカー協会，一般社団法人長野県サッカー協会
3. 主 管 一般社団法人長野県サッカー協会フットサル委員会・長野県フットサル連盟
4. 協 力
5. 期 日 1 回戦 : ① 2023 年 12 月 17 日(日)
準々決勝 : ② 2023 年 12 月 23 日(土)
準決勝 : ③ 2023 年 12 月 24 日(日)
決 勝 : ④ 2023 年 12 月 24 日(日)

6. 会 場 南長野運動公園体育館(長野市篠ノ井東福寺 3 2 0)

7. 表 彰

優勝チームは 2024 年 1 月 20 日(土)、21 日(日)に石川県輪島にて開催される同北信越大会への出場
の権利を与え、その義務を得る。

また、優勝以下 3 位までに賞状を授与する。

優勝チームには優勝カップを与え、次年度大会まで保持せしめる。

8. 参加資格

- ① 公益財団法人日本サッカー協会(以下「日本サッカー協会」と記す)に「フットサル1種」または
「フットサル2種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。日本サッカー協会に承認を
受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属
する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、本項の適用対象となる選手の年
齢は、「フットサル2種」のみとし、「フットサル1種」年代の選手は適用対象外となる。
- ② 長野県フットサル連盟に加盟登録しているチームであること。なお、事務手続き上の理由で加盟
登録前のチームである場合、そのチームの所在地が長野県にあり、過去一年間の活動実績が長野
県にあることを証明できなければ参加資格は得られない。
また、チーム登録者の 70%が県内在住(この大会参加のため住民票移動は不可とする)であるこ
と。
- ③ 第1項および第2項のチームに所属する 2008 年 4 月 1 日以前に生まれた選手であること。男女
の性別は問わない。
- ④ 外国籍選手は 1 チームあたり 3 名までとする。
- ⑤ 長野県フットサル1部リーグおよび2部の各リーグに属しているチーム間において、本大会のため
に選手を移籍して参加することはできない。ただし、その該当するチームそれぞれが本大会に
参加する場合を除く。
- ⑥ 選手およびチーム役員は、本大会で別のチームに登録(多重登録)していないこと。
- ⑦ 引率者は当該チームを指導掌握し、責任を負うことのできる者であること。

9. 募集チーム数

12 チーム

シードチーム数は 4 チーム(昨年度の優勝チーム、準優勝チーム、第 3 位チーム)とする。

10. 競技形式

12 チームによるノックアウト方式で行う。

① 1 回戦から準々決勝：

2022 年度の全日本選手権大会長野県大会の試合結果を元にシードチームを決定する。

[1]昨年度優勝チーム：第 1 シード

[2]昨年度準優勝チーム：第 2 シード

[3]昨年度 3 位チーム：第 3 シード、第 4 シード（抽選によってシードを振り分ける）

シード以外のチームは 1 回戦からの参加となる。

組み合わせは、抽選会を実施して決定する。

② 準決勝および決勝：

準決勝の勝者 2 チームで決勝戦を行う。決勝戦の勝者が本大会の優勝チームとなり、敗者は 2 位となる。準決勝の敗者 2 チームは 3 位決定戦を行うことなく、その 2 チームを 3 位とする。

優勝チームは、次年度開催予定の本大会第 1 シードチームとなる。

準優勝チームは、次年度開催予定の本大会第 2 シードチームとなる。

3 位チームは、次年度開催予定の本大会第 3、第 4 シードチームとなる。

次年度以降、募集チーム数を拡大する場合もシードチームとして、組み合わせを行う。

11. 競技会規定

大会実施年度の「フットサル競技規則」による。

なお、以下の項目については、本大会の規定を定める。

① ピッチサイズ：原則として 40m×20m

② 試合球：モルテン製 ヴァンタッジオフットサル 4000 (F9A4000) 4 号ボール

③ 競技者の数

競技者の数：5 名

交代要員の数：9 名以内

ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：2 名以内

④ チーム役員の数

5 名以内（ただし、通訳が試合に登録されている場合は、6 名以内とする。）

⑤ 競技者の用具

[1]ユニフォーム

(ア) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム（シャツ、ショーツ、ストッキング）を参加申込書に記載し、参加申込書とともにユニフォームおよびビブスの写真を提出すること。

(イ) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。

(ウ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。（貼番を可とする）

- (エ) シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
- (オ) 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
- (カ) ユニフォームへの広告表示については、日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担すること。[ユニフォーム広告掲出届出書]は大会期間中携帯すること。
- (キ) ユニフォームの色、選手番号の参加申込み処理完了以降の変更は認めない。
- (ク) シャツの下に着用するアンダーウェアは、シャツの袖の主たる色と同色のものだけを許可する。また、パンツの下に着用するアンダーショーツは、ショーツの主たる色と同色のものだけを許可する。ゴールキーパーは長いトラウザーをはくことができるが、事前にその色が登録されていることを条件とする。タイツの着用に関しては、アンダーショーツと同義とする。
- (ケ) 交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。
- (コ) その他の事項については日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に則る。

[2]シューズ

キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が飴色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのものとする。但し、ノンマーキングシューズは靴底が着色されたものでも施設が許可をしている場合は、着用可能とする。

[3]すね当て

必ず着用すること。また、試合中はストッキング等により完全に覆われていること。試合前用具確認時、ストッキング等で完全に覆うことが不可の場合、その選手は試合に出場できない場合がある。ストッキングの上からすね当てを固定する目的で使用するテープやサポーター等の色は、ストッキングの主たる色と同じまたは透明とする。

[4]装身具

材質を問わず全ての装身具の着用は許可しない。ただし、顔面を保護する目的のフェイスガードや、頭部を保護する目的のヘッドガードなどは、自身と他の競技者に危険がないと審判が判断した場合に着用を認める。

⑥ 試合時間：

1回戦～決勝まで40分間(20分からなる2つのピリオド)のプレーイングタイムとする。

⑦ 規定時間内で勝敗が決しない場合の勝者を決定する方法：

1回戦と準々決勝：延長戦を行わず、PK方式を用いて勝者を決定する。

準決勝および決勝戦：10分間(5分からなる2つのピリオド)の延長戦(タイムアウトなし)を行う。延長戦でも勝敗が決しない場合はPK方式を用いて勝者を決定する。

⑧ インターバル：

ハーフタイムのインターバル(1st ピリオド終了から 2nd ピリオド開始まで)は、10 分間とする。ベンチ交代を行う。規定時間内に勝敗が決しない場合の延長戦については 1 分間とする。この延長戦に入る前のインターバルは 5 分間とする。また、PK 方式に入る前のインターバルは 1 分間とする。

⑨ 警告、退場：

- ・ 本大会期間中に警告を 2 回受けた選手および交代要員は、次の 1 試合に自動的に出場できない。
- ・ 前項により出場停止処分を受けたとき、または本大会の終了のときに警告の累積は消滅する。
- ・ 本大会期間中に退場を命じられた選手、交代要員、およびチーム役員は、次の 1 試合に出場できない。本大会期間中に出場停止処分が消化できない場合については、北信越大会進出チームは北信越大会で、その他のチームは直近の日本協会、北信越協会、長野県協会、北信越連盟、長野県連盟の主催する大会で消化することとする。ただし、警告の累積によるものを除く。

12. 参加申込み

- ① 参加希望チームは、日本サッカー協会によるチーム登録を完了していなければならず、「チーム登録情報」として「チーム情報」と「選手情報」を申込み時に提出すること。
- ② 「参加申込書」に必要事項を記載すること。なお、記載し得る選手および役員は、チームへ登録済みであり、その上限は選手 20 名、役員 6 名とする。外国籍の選手は指定欄に○印で表現すること。
- ③ チーム登録情報、参加申込書を大会主管元担当者宛てにメールで申し込むこと。シードチーム含め、**申込み締め切りは 11 月 19 日(日)**とする。
- ④ 大会主管元にて上述した参加申込書を受理後「プライバシーポリシー同意書」自署済みのものを大会当日持参すること。
- ⑤ 必要に応じて「ユニフォーム広告掲出届出書」を用意し、大会当日、日本サッカー協会理事会の承認証も持参すること。
- ⑥ 参加費 **¥15,000** を下記口座へ入金すること。

入金締め切りは 11 月 20 日(月)とする。

八十二銀行 松本営業所 (店番号 411)

普通口座 1334939

口座名義 一般社団法人長野県サッカー協会フットサル委員会

※振込み名義はチーム名(略称可)としチーム名の前に F108 を記載すること

以上で本大会の参加申込み処理は完了となる。

なお、入金後、チーム都合で大会出場をキャンセルした場合、参加料の返金は行わない。

また、指定期日までに入金が無い場合、[参加申込書]を受領しても、キャンセル待ちのチームに参加権利を移譲するので注意すること。

⑦ 大会主管元担当者：

一般社団法人長野県サッカー協会フットサル委員会 大会担当 下條 貴史

Mail : barbasal0110@gmail.com

Tel : 080-5141-6710

13. 参加料

- ① 大会参加費は、**¥15,000** とする。(シードチームも含む)
準々決勝進出チームは、別途**¥7,000** を追加徴収する。(シードチームの徴収なし)
準決勝進出チームは、別途**¥7,000** を追加徴収する。

14. 経費

各チームの経費は各チームの負担とする。

15. 組合せ抽選会

11月23日(木祝)19:00より、Web会議にて行われる代表者会議にて実施する。

16. 代表者会議

11月23日(木祝)19:00より、web会議にて代表者会議を実施する。

17. 傷害補償

参加チームはチームの責任において傷害保険(物損対応可能なもの)に加入すること。

18. その他

- ① 1回戦から決勝までの会場作成は、参加の各チームから最低3名の作業員を派遣し、大会主管元の指示に従い効率よく会場作成を行うこと。また、片付けに関しては別途依頼する。
- ② 参加選手および役員について、参加申込み後に変更が生じた場合、変更を認めない。参加申込み処理において質問などがある場合は、後述した 20. 問い合わせ先に確認すること。
- ③ 大会スケジュールを事前に確認し、遅延なく大会運営に協力する事。
特に試合前の MCM には遅刻しないこと。
- ④ 本大会の1回戦と準々決勝の審判員について、主審は長野県サッカー協会審判委員会より派遣し、第2番・第3番・タイムキーパーは参加チームに帯同するフットサル審判有資格者2名(内フットサル3級以上1名が好ましい)が行う。参加申込み時に帯同審判員を記載し、帯同審判が用意できないチームの大会参加は認めない。記録は審判無資格者でも対応可能とする。
準決勝～決勝戦の審判員は長野県サッカー協会審判委員会より派遣する事とする。
- ⑤ 記録及びボールパーソンは参加チームに割り当てる。
- ⑥ 各チームの登録選手は、原則として日本サッカー協会発行の選手証を持参しなければならない。ただし写真が貼付により顔の認証できるものであること。不携帯の場合は当該試合への出場を認めない場合がある。
※選手証とは、日本サッカー協会 WEB システム「KICK OFF」から出力した選手証・登録選手一覧表を印刷したもの、またはスマートフォンや PC 等の画面に表示したものを示す。
- ⑦ マッチコーディネーションミーティング (MCM) は、前試合のハーフタイムに、各チーム代表者と審判員により実施する。実施場所は大会当日告知する。なお、MCM の際、各チーム代表者はフィールドプレイヤー、ゴールキーパーの正副ユニフォームおよび2種類のビブスの現物または写真および選手証を持参すること。また、第一試合の MCM は、第一試合開始 80 分前とする。
- ⑧ 大会期間中、参加する選手は必ず保険証または保険証のコピーを持参すること。
- ⑨ 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰

責事由のあるチームは 0 対 5 またはその時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。

- ⑩ 本大会申込み処理完了後、チーム事情などの理由により、大会参加が困難になり参加不可能となったチームは、次年度以降の本大会への参加申込みを認めない。
- ⑪ 飲水に関しては、ベンチ内のシート上でペットボトルまたはスクイズボトルに充填された水のみを許可する。飲水後、ベンチ付近にこぼれた水は、チームが責任を持って拭くこと。
- ⑫ パワープレー要員が着用するシャツは、登録されたゴールキーパーのシャツのみ許可する。
- ⑬ 閉会式は決勝戦直後に行う。参加チームは準決勝と決勝進出の 4 チームとし、優勝カップ贈呈と 3 位までの賞状授与を行う。
- ⑭ 試合前の公式練習は、キックオフ 25 分前から 15 分間、ピッチ内でボールを用いて行うことを基本とする。しかし大会運営上、キックオフ時刻を優先する理由から、公式練習の 15 分間は担保しない。
- ⑮ 参加チームと選手は、日本サッカー協会の基本規程および付属する諸規程（ユニフォーム規程等）を遵守しなければならない。詳細については、日本サッカー協会ホームページを参照すること (<http://www.jfa.jp/>)。

19. 問合せ先

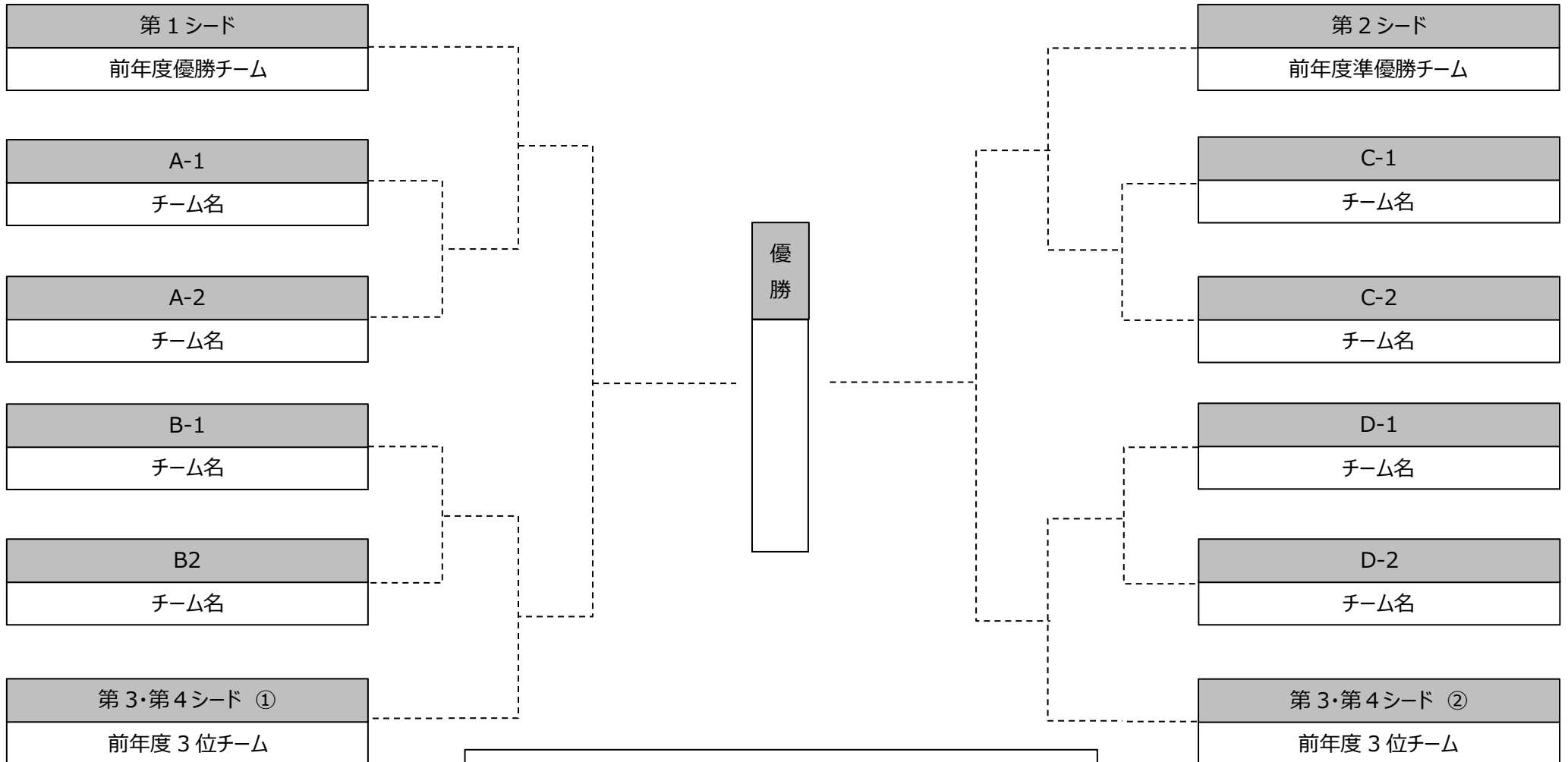
一般社団法人長野県サッカー協会フットサル委員会 大会担当 下條貴史

Mail : barbasal0110@gmail.com

Tel : 080-5141-6710

メール問い合わせおよび参加申込の際、件名に【2023 全日本】と先頭に記載する。

JFA 第 29 回全日本フットサル選手権大会第 28 回長野県大会 トーナメント表



前年度成績
優 勝 : ボアルース長野ヴェルメリオ
準優勝 : GNU FUTSAL CLUB
第 3 位 : FC TRIDENTE、アルフェルテ南信州

